













公民	倫理	4	6年
----	----	---	----

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせると共に、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
目標を達成するための留意点	グループ学習やアクティブラーニングを通して、より具体的に習った知識が自分なりに活用できるようにする。 大学入試に向けて、演習を多用し備える。
使用教科書	改訂版 倫理（数研出版）
使用副教材	新倫理ノート（啓隆社） 実力トレーニング倫理（啓隆社） 共通テスト実践問題パックV公共・倫理（駿河台文庫） 最新図説 倫理（浜島書店）
評価基準	知識・理解／思考力・判断力・表現力／主体的に学習に取り組む態度 それぞれの項目に関して、授業・定期考査・課題等を通して総合的に評価する。
学習内容	<p>【 現代に生きる自己の課題 】 人間とは何か／青年期の意義と課題</p> <p>【 西洋思想の源流 】 古代ギリシアの思想／キリスト教／イスラーム</p> <p>【 東洋思想の源流 】 古代インドの思想と仏教／中国の思想</p> <p>【 西洋近代の思想 】 理性への信頼と人間の尊厳／自然・科学技術と人間／個人・社会と自由／民主社会の原理</p> <p>【 現代の思想 】 現代思想の流れ／現代社会と生き方</p> <p>【 日本の伝統思想と東洋思想の受容 】 日本の風土と古代日本人の考え方／仏教の受容と展開／儒学の受容と国学の発達</p> <p>【 西洋思想の受容と近現代の日本の思想 】 近代の日本の思想／国際社会を生きる日本人</p> <p>【 現代の諸課題と倫理 】 生命倫理／現代の環境問題／家族と地域社会／情報社会の功罪／ さまざまな文化・宗教への理解／国際平和と人類の福祉</p> <p>【 倫理演習 】 総合演習</p>



公民	政治・経済	4	6年
----	-------	---	----

1. 学習の到達目標等

到達目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させると共に、それらに関する諸課題について主体的に考えさせ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
目標を達成するための留意点	グループ学習などアクティブラーニングを通して、自分の意見が持てるようにしたい。また、大学入試に向けて、演習を多用し備える。
使用教科書	改訂版 政治・経済（数研出版）
使用副教材	新政治・経済ノート（啓隆社） 共通テスト実力トレーニング政治経済（啓隆社） 共通テスト実践問題パックⅤ政治経済（駿河台文庫） 最新図説 政経（浜島書店）
評価基準	知識・理解／思考力・判断力・表現力／主体的に学習に取り組む態度 それぞれの項目に関して、授業・定期考査・課題等を通して総合的に評価する。
学習内容	<p>【 民主政治の基本原則と日本国憲法 】 民主政治の基本原則／日本国憲法と基本的人権／日本の政治機構／政治参加と民主政治の課題</p> <p>【 現代経済のしくみと特質 】 経済活動の意義と経済体制／現代経済のしくみ／日本経済と福祉の向上</p> <p>【 現代の国際政治 】 国際政治の動向／国際社会の課題と日本の役割</p> <p>【 国民経済と国際経済 】 国際経済の動向／国際経済の課題と国際協力</p> <p>【 現代社会の諸課題 】 現代日本の諸課題／国際社会の諸課題</p>















教科	科目	単位数	対象学年
理科	物理（理系）	4	6年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
目標を達成するための留意点	学習のアドバイス等 1 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。 2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。 3 演習を通じて、学習内容を確認し、思考力や応用力を養うこと。
使用教科書	「高等学校 物理」（啓林館）
使用副教材	「センサー 物理 3rd Edition」（啓林館） 「大学入試共通テスト 物理単元別問題集」（駿台文庫） 「良問の風」（河合出版） 「2026 共通テスト直前演習 物理」（ラーンズ）
評価基準	*主体的に学習に取り組む態度 *思考・判断・表現 *知識・技能 の3つの観点をもとに総合的に評価する。
学習内容	5年次から継続する形で、物理の第4部「電気と磁気」、第5部「原子・分子の世界」の各部分において、物理現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解し、物理現象とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につける。 講義形式による単元内容の理解とグループ型学習形式による問題演習により、学習内容の理解を深め、進路実現に対応できる学力を養う。

### 2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気と磁気	電気と電位	■	■	1学期 中間 考査	1学期 期末 考査				2学期 中間 考査	■	2学期 期末 考査	■	学年 末 考査
	電流	■	■							■			
	電流と磁界		■			■						■	
	電磁誘導と電磁波		■			■						■	
原子・分子の世界	電子と光			1学期 期末 考査			■	■	2学期 中間 考査	■	2学期 期末 考査	■	学年 末 考査
	原子・原子核・素粒子						■	■		■		■	

教科	科目	単位数	対象学年
理科	化学（理系）	4	6年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	<p>難関大学合格に向けた、実戦即応型の学力を身につける。</p> <p>問題読解力の向上、基礎理解の確認、推薦入試も視野に入れた発現力の向上を目指す。</p>
目標を達成するための留意点	<p>受動的な学習姿勢ではなく、能動的な学習姿勢を意識させる。</p> <p>演習を通じて、学習内容を確認し、思考力や応用力を養う。</p>
使用教科書	<p>「化学基礎」（東京書籍）</p> <p>「化学 Vol.1 理論編」（東京書籍）</p> <p>「化学 Vol.2 物質編」（東京書籍）</p>
使用副教材	<p>「セミナー化学基礎＋化学」（第一学習社）</p> <p>「化学重要問題集」（数研出版）</p> <p>「大学入試共通テスト化学単元別問題集」（駿台文庫）</p> <p>「2026 共通テスト直前演習 化学」（ラーンズ）</p>
評価基準	<p>*主体的に学習に取り組む態度</p> <p>*思考・判断・表現</p> <p>*知識・技能</p> <p>の3つの観点をもとに総合的に評価する。</p>
学習内容	<p>5編 有機化合物</p> <p>3章 アルコールと関連化合物</p> <p>4章 芳香族化合物</p> <p>6編 高分子化合物</p> <p>1章 高分子化合物とは何か</p> <p>2章 天然高分子化合物</p> <p>3章 合成高分子化合物</p> <p>7編 化学が果たす役割</p> <p>1章 化学的性質の利用と工業的製法</p> <p>2章 未来を創る化学</p> <p>入試対策演習</p>

## 2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
化学と人間生活	化学とは何か												
	物質の成分と構成元素												
物質の構成	原子の構造と元素の周期表												
	化学結合												
物質の変化	物質量と化学反応式												
	酸と塩基												
	酸化還元反応												
物質の状態	物質の状態												
	気体の性質												
	溶液の性質												
	固体の構造												
化学反応とエネルギー	化学反応と熱・光												
	電池と電気分解												
化学反応の速さと平衡	化学反応の速さ												
	化学平衡												
	水溶液中の化学平衡												
無機物質	周期表と元素												
	非金属元素の単体と化合物												
	典型金属元素の単体と化合物												
	遷移元素の単体と化合物												
	金属イオンの分離と確認												
有機化合物	有機化合物の特徴と構造												
	炭化水素												
	アルコールと関連化合物												
	芳香族化合物												
高分子化合物	高分子化合物とは何か												
	天然高分子化合物												
	合成高分子化合物												
化学が果たす役割	化学的性質の利用と工業的製法												
	未来が創る化学												
				1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査				2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査			学 年 末 考 査



教科	科目	単位数	対象学年
理科	化学基礎(文系)	2	6年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	難関大学合格に向けた、実戦即応型の学力を身につける。 問題読解力の向上、基礎理解の確認
目標を達成するための留意点	受動的な学習姿勢ではなく、能動的な学習姿勢を意識させる。 演習を通じて、学習内容を確認し、思考力や応用力を養う。
使用教科書	「改訂 化学基礎」(東京書籍)
使用副教材	「大学入試共通テスト化学基礎単元別問題集」(駿台文庫) 「2026 共通テスト直前演習 化学基礎」(ラーンズ)
評価基準	*主体的に学習に取り組む態度 *思考・判断・表現 *知識・技能 の3つの観点をもとに総合的に評価する。
学習内容	科学と人間生活 科学とは何か 物質の成分と構成元素 物質の構成 原子の構造と元素の周期表 化学結合 物質の変化 物質と化学変化 酸と塩基 酸化還元反応  入試対策演習

### 2. 指導計画

		4月	5月		6月		7月	8月	9月	10月		11月		12月	1月	2月		3月
科学と人間生活	化学とは何か			1		1					2		2					
	物質の成分と構成元素			学		学					学		学					
物質の構成	原子の構造と元素の周期表			期		期					期		期					
	化学結合			中		中					中		中					
物質の変化	物質と化学反応式			間		末					間		末					
	酸と塩基			考		考					考		考					
	酸化還元反応			査		査					査		査					

教科	科目	単位数	対象学年
理科	生物基礎(文系)	2	6年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
目標を達成するための留意点	受動的な学習姿勢ではなく、能動的な学習姿勢を意識させる。 演習を通じて、学習内容を確認し、思考力や応用力を養う。
使用教科書	「生物基礎」(東京書籍)
使用副教材	「リードα 生物基礎」(数研出版) 「大学入試共通テスト生物基礎単元別問題集」(数研出版) 「2025 共通テスト直前演習 生物基礎」(ラーンズ)
評価基準	*主体的に学習に取り組む態度 *思考・判断・表現 *知識・技能 の3つの観点をもとに総合的に評価する。
学習内容	入試対策演習

### 2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生物の特徴	生物の多様性と共通性	■							■	■			
	生物とエネルギー			1	1				2	2			
遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA		■										学 年 末 考 査
	遺伝情報とタンパク質												
ヒトの体の調節	体内環境と情報伝達												
	免疫のはたらき					■							
生物の多様性と生態系	植生と遷移						■						
	生態系と生物の多様性							■					







